

山田みやこの活動報告

令和8年5月19日(火)

女性参政権行使80年記念シンポジウムに参加 於：文京シビックセンター
市川房枝記念会女性と政治センター主催
「民主主義の担い手としての女性」

基調講演は
東洋英和女学院大学名誉教授 進藤久美子さん

- ・市川房枝とは
 - 1) 女性参政権運動家
 - 2) 金権政治と戦う
 - 3) 1975年以降女性運動の声を届ける役目
 - 4) 平和主義者

利権追求に対抗し「政治は生活」と唱えた
平和憲法を守りぬく
公明正大なクリーンな議会制民主主義を根つかせる
戦時下で女性・子どもを守った
財界癒着(政府と議会)は戦争への道へつながる
戦争は始まる前に止める
1953年立候補し5期23年間議員
政治とカネの問題を国会で追求
1980年参議院議員全国区トップ当選、しかし自民党圧勝、金権の根は深い
憲法改正を憂い87歳で亡くなるまで、
「出たい人」より「出したい人」という理想選挙で提唱

◇シンポジウムは3名のパネリスト

法政大学名誉教授 建石真公子さん

参政権は民主主義を支える
第2次世界大戦後フランスはパリテ法(2000年)施行
男女同数、多様な市民参加で平和平等に
子どもの頃から市民は人権・教育をたたきこまれる
金権政治改め、地方議会は草の根運動

立教大学法学部教授 小川有美さん

女性なくして民主化なしの歴史は続く
不平等は非民主化
女性の休日……アイスランドで女性9割が仕事・育児・家事を休むことで社会は女性なしで
は動かないことを見える化

バイシクル・シティズンとは、既存の政治を忌避しながらも日常生活や地域コミュニティの中で独自の公共的・政治的活動を行う日本の主婦層をさす

男性はタクシー・女性は自転車に例える
女性たちは地域のネットワーク構築、ボランティアや生協活動など生活者運動を通じて社会貢献し、生活の視点から問い直す新たな政治参加を行った

女性参政権行使80年
記念シンポジウム

民主主義の 担い手としての女性

2026/5/19(火) 13:30-16:00 参加 無料
文京シビックセンター・小ホール

1 基調講演 13:30-14:25
市川房枝の求めた世界と
今日の課題
進藤久美子
(東洋英和女学院大学名誉教授)

2 シンポジウム 14:35-15:05
パネリスト
建石真公子 (法政大学名誉教授)
小川有美 (立教大学法学部教授)
進藤英代 (立教大学法学部教授)
コーディネーター
林陽子 (立教大学法学部教授)

主催 (公財) 市川房枝記念会女性と政治センター 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-21-11 練道会館
TEL: 03-3370-0238 / FAX: 03-5386-4632 / E-mail: fukawa.mouchikuni@fuk.or.jp / URL: www.ichikawa-fuse.or.jp

元松山市議会議員 篠崎英代さん

1998年無所属にて女性議員として当選(45年ぶり)

選挙で政治をきれいに、支援者がともに行う政治活動

市川記念会で学習

2023年市川記念会を支える枝の会設立

山口みつ子(元理事長)の追悼集作成に携わる

2024年えひめ女性議員ネットワーク発足

女性社会を変える、市民とともに政治をつくる姿勢が信頼を生む

権利の上に眠ることなく市川イズムを続ける

えひめ女性議員ネットワークでは県内の女性議員の7割がハラスメントを経験、そこでハラス

メント防止条例制定の要請を各議会にしている

女性民主的資質を高め、社会を変える

市民とともに政治をつくる姿勢が信頼を生む

※3名の女性議員から民主的政治にかえていく事例と実践を聞いた。

女性参政権行使80年において力強い活動の原点をいただいた。